



社會運動ノ背景トシテノ輓近思想ノ推移(2)

小尾, 範治

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 30(4):576-599

(Issue Date)

1921-04

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00053303>



社會運動ノ背景トシテノ輓近思想ノ推移 (其二)

小樽高等商業學校教授

文學士 小 尾 範 治

七

カクノ如ク十九世紀後半ニ於テ世界思潮ノ大勢ヲ制シツ、アツタ唯物論或ハ物質主義的傾向ハ、科學ノ進歩並ニソレヲ利用セル產業ノ發達ト聯關シテ將ニ世界ノ人心ヲ舉ゲテ飽クコトナキ物欲ト享樂ノ奴隸タラシメントスル狀勢ニ到達シタ際ニ、カ、ル爛熟ノ間カラ、否ミ難キ內心ノ要求ハ、遂ニソノ反動トシテ唯心論的或ハ理想主義的思潮ヲ生ミ、ソレガ時世ノ轉回ト共ニ次第ニ鮮明ナル色彩ヲ現示シツ、アルヤウニ思ハレル。以上ニ於テ自分ハ哲學思想ヲ中心トシテ一般思想界ノ轉向ヲ概觀シタガ、尙進ンデソレガ社會運動特ニ勞働者運動ノ最近ノ傾向ニ如何ナル變化ヲ生ゼシメテキルカラ考察シヨウト思フ。

等シク勞働者階級トイフモ、國ニ依ツテソノ進歩ノ程度ニ差等アルコトハ勿論デアル。

勞働運動ニ基ケル一般ノ觀察ニ據レバヨーロッパ特ニイギリス、フランス、ドイツ邊ノ勞働者ガ最モ進歩シ、アメリカニ於テハ遙カニ後レテキルヤウデアリ、我國ナドデハ少クトモ文明國ノ中デ最モ低級デアルトイハレテキル。ソノ文化ヲ同列ニ見テアメリカノ勞働階級ガヨーロッパニ於ケルソレヨリモ後レテキルノハ、主トシテ前者ガ世界ノ各國カラ寄集ツタ烏合ノ勢デアル爲ニ、凡テ統一の運動ヲ爲スコトガ出來ズ、從テ有識者ノ宣傳モ彼等ノ階級的の自覺ヲ促スコトニ於テ種々ナル障礙ヲ經ナケレバナラナカツタコトニ基因スルモノト見ラレテキル。

然ラバヨーロッパニ於テ、勞働者階級ノ思想傾向ハ如何ナル方向ヲ指シテ進ミツ、アルカ。大戰前ニ於テハ、大體各國共資本家ノ勢力ニ壓服サレ勞働者ハ低級ナル生活ノ底カラ、時折社會主義者ノ宣傳ナドニ刺激サレテ、反抗的運動ヲ試ミ、殊ニイギリスニ於テハ同盟罷業ノ方法ヲ屢々利用シタガ、ソノ要求ハ彼等ノ生活上當面ノ必要カラ生ジタ賃銀ノ増加ニ外ナラズ、資本家階級ガ物質主義デアツタ如ク、勞働者モ亦ソノ點ニ於テ殆ンド異ル所ガナカツタ。然ルニ時代思潮ノ理想主義的轉向ハ、勞働者階級ニモ影響セズニハ止マナカツタ。殊ニソレガ彼等ノ階級的の自覺ノ深マルニ從ツテ益々明カニナツタ。社會主義者ソノ他一般ニ有識者ノ刺激ニ由

リ、彼等ハ先ヅ自己ノ境遇ノ悲慘ナルコトト、ソノ原因ガ主トシテ資本家階級ノ利益獨占ニ存スルコトトヲ覺ツタガ、未ダ人間トシテノ自覺ニハ到達スルコトガ出來ナカツタ、然ルニ輓近ニ於ケル教育ノ普及、一般文化ノ向上ハ漸ク人間生活ノ意義ニ就テ臆ゲナガラ彼等ノ反省ヲ促スニ至ツタ、ソノ時恰カモ時代ノ理想主義的思潮ガ「パン」ハ缺クベカラザルモノニ相違ナイガ、人ハ「パン」ノミニテ生き得ルモノデナイトイフ古イ真理ノ意味ヲ彼等ニサ、ヤイタ。カ、ル狀勢ヲ前ニシテ勃發シタノガ、即チカノ世界的大戰デアッタ。

一體ニ戰爭ハソレガ眞劍ノ業デアルダケ、人ヲ眞面目ニサセルモノデアル。大戰ノ眞因ハ恐クイギリス並ニドイツ各自ノ經濟的膨脹ガ兩立シ難クナリ、自國ノヨリ以上ノ發展ノ爲ニハ他ヲ倒サネバナラストイフ狀勢ニアツタラウト思フガ、一旦火蓋ヲ切ツテ、シカモ火ノ手ガ豫想外ニ擴ガリ、又聯合國側カライヘバドイツハ四面ニ敵ヲ受ケナガラ容易ニ屈セズ、同盟側カラ見レバ、當テニシテキタイタリハ裏切り、其ノ他敵ノ味方ガ漸次増大スルヲ見、互ニ自國乃至自民族ノ危急ヲ感じ一入ノ緊張ヲ加ヘタ、各國民ノ愛國的衝動ハ平生ノ主張ノ異同ヲ覆ウテ、祖國擁護ノ爲ニ各人ヲシテソノ任務ヲ演ゼシメタ。カクテ世界ノ人心ハ自然ニ精神的ニナ

リ、祖國ニ對スル各自ノ責務ヲ自覺スルヤウニナツタ。ガ併シ責務ノ自覺ハ同時ニ權利ノ自覺ヲ伴ハザルヲ得ナカツタ。ソコデ戰前上層階級ニ虐セラレテキタ各國ノ勞働者階級ハ、各自ノ手デ祖國ノ運命ヲ支ヘツ、アルトイフ自覺ノ下ニ、國家ニ對スル權利ノ要求ニ醒メタ。

茲ニ於テ、サキニハ單ニ賃銀ノ増額以上ノ要求ヲ知ラナカツタ彼等ハ、政權ニ參與スル權利ノ要求ヲ提起セントスルニ至ツタ。然カモソノ間ニ、資本家ノ暴利ヲ貪リ得ルハ、ソレガ政權ト結托セルガ故デアアル、從テコレヲ矯正シテ勞働者ノ生活ト自由トヲ保證センガ爲ニハ、政權ヲ彼等ノ手ニ收メネバナラヌトイフ社會主義的思想ノ宣傳ガ彼等ノ權利思想ヲ益々熾烈ナラシメ、ソレガ遂ニ爆動シテロシア續イテドイツノ革命トナツタノデアアル。革命ヲ起シタノハ、專制政治ノ下ニ永イ間革命的的思想ヲ醸シ來ツタロシアト、軍國主義ノ權化トシテ大戰ノ第一責任者ト目サレテキタ「カイゼル」ヲ戴ケルドイツダケデアツタガ、イギリス、フランス、イタリー等ニ於テモ、勞働者階級ノ態度コソ異ナレ、ソノ思想傾向ハ革命國トサシタル徑庭ハナイヤ、ウニ思ハレル。從テソノ相異ハ國情民性、等ニ基クモノデアラウ。即チヨロツバニ於ケル勞働者階級最近ノ傾向ハ、最早從前ノ如キ單ニ對資本家の經濟的開

題デハナクテ、政治問題化シツ、アリソレガ働モスレバ過激派的色彩ヲ帶ビヤウトスルニ至ツタコトハ、ヨーロッパ各國ニ共通ナル狀勢デアルヤウニ見エル。現ニイタリーノ如キハ、屢々勞働者ノ赤化ヲ傳ヘラレテキル。

今コレ等各國ニ於ケル勞働不安ノ狀勢ヲ概觀スルニ、今世紀ノ初頭ニフランスニ現レ、ソレカライギリスニ傳播シタ「サンディカリズム」、ソレト並立セル「イギリスノコレクテイヴィズム」、ソレ等ノ後ヲ承ケテ新ニ生レタ「ギルド社會主義」等ノ主張ヲ背景トセル勞働者運動ハ、ソノ目的並ニ手段ニ於テ種々ノ相異ガアリ「コレクテイヴィズム」ガ生産資料ヲ公共團體ノ手ニ收メントスルニ反シ、サンディカリズムデハ生産支配權ヲ勞働組合ニ歸セシメントシ「ギルド社會主義」ガソレ等兩者ノ調和ヲ計ラントスルガ如キ差別ハアルガ、勞働者ガ資本家ノ拘束カラ解放サレテ、經濟活動ニ於テ支配權ヲ獲得セントスルコトニ於テハ、何レモソノ要求ヲ同ジウスルモノトイッテヨイ。而シテ唯物論的社會主義者乃至物質主義者ハコレヲ解釋シテ、ソレガ單ニ勞働者階級ガ彼等ノ貧困ノ原因タル資本制度ノ破壊ト、ソノ結果タル生活保證ノ要求トニ立脚セルモノデアルト見ルデアラウ。勿論コレハ確カニ一面ノ眞理デアル。人間誰カ好ンデ貧困ヤ生活ノ不安ヲ選ブモノガアラウ。ガ併シソ

レハ一面ノ真理ニ過ギズシテ、他ノ反面ヲ閑却セル偏見デアルト思フ。而シテ看過サレタル他ノ反面ハ、既ニ明カニ最近ノ運動タル「ギルド」社會主義ニ由テ意識サレテキル。彼等ニ依レバ、從來ノ勞働者ノ運動ガタゞ賃銀ノ引上ゲヲ要求シタリ、唯物論的社會主義者論ガ生産資料ノ公有ヲ主張シテモ、賃銀制度ソノモノノ存續スル間ハ、假令生活ノ保證ハ現レテモ、自由ハ與ヘラレナイ、自由ガ與ヘラレナイナラバ畢竟奴隸ノ境遇ト選ブ所ガナイ。即チ賃銀制度ハ人間ノ勞働ヲ商品ト認メ、コレヲ賣買スル制度デアルカラ、傭主ガ個人タルト團體タルト、賃銀制度ノ行ハレル所ニハ勞働ハ商品トシテ扱ハレ、勞働ガカク見ラレル以上、ソレハヤガテ奴隸制度ト同一ノ根柢ニ立ツモノデアル。然ルニ奴隸制度ハ既ニアメリカ南北戦争ニ由テ人道的見地カラ否定サレ、文明國ニ於テハ根絶サレタノデアアル。然ラバ人間ノ勞働ヲ賣買スル賃銀制度モ根絶サルベキデアル。而シテコレヲ可能ナラシメンガ爲ニハ、勞働組合ク産業支配ニ由ラナケレバナナイ。而シテ「ギルド」社會主義ノカ、ル主張ハ大體「フランスカラ發シテ各國ニ傳ハレル」「サンデイカリズム」ノ要求ト大ナル相異ガナイヤウニ見エル。

今自分ハカ、ル主張ノ是非ヤ可能ノ問題ヲ論ジヤウトスルノデハナイ。タバン

コニ勞働者ノ運動或ハ有識者ノ主張ノ中ニ從來ノ如キ單ナル物質的要求カラ人間的精神的、即チ理想主義的要求ヘノ轉向ヲ認メタイト思フノミデアアル。勿論自分ガカクイフノハ、勞働者ガ物質的要求ヲ捨テ、精神的要求ニ就イタト見ルノデハナイ。即チ自分ハ、彼等ガ舊來ノ物質的要求ノ外ニ、精神的要求ニ醒メタコト、又前者ハ目的トシテノ後者ヲ實現スル手段ナルコトヲ自覺セントシツ、アコト、約言スレバ彼等ガ物質主義カラ理想主義ニ轉向セントシツ、アルコトヲ認メタイノデアアル。而シテ自分ハカ、ル傾向ヲ最近ヨオロツバニ起レル勞働者運動ト關聯セル有識者階級ノ主張ノ中ニ認メタノデアアルガ、ソレヲ以テ直チニ現代勞働者ノ要求ト見ルコトハ早計デアラウ。ガ併シ彼等ガ現ニ一般ニカ、ル宣傳ニ由テ動カサレツ、アルコトハ事實デアツテ、又カク動カサレツ、アル限リ、彼等モ亦相應ニソノ目的ニ就テ理解スル所ガアルニ相違ナイト推斷シ得ルト思フ。現ニ勞働非商品ノ思想ガ、有識者並勞働者ニ行キ渡ツタ一般ノ要求デアアルコトハ爭ハレナイ事實デアツテ、ソレガ爲ニ國際勞働法規ニ於テモ勞働者ヲ人格者トシテ遇スベキコトヲ規定シテキル。我ガ友愛會ニ於テサヘ、ソノ綱領ノ第一ニ勞働非商品ノ原則ヲ掲ゲテキル一事ヲ以テスルモ、コノ間ノ消息ヲ窺知スルニ足ルト思フ。

又カ、ル人格的要求ハ政治的施設ニ於テモ充分考慮セラレツ、アルヤウニ見ヘル。例ヘバ一九一八年改正ノイギリス新選舉法ニ於テハ、財産的條件ヲ殆ンド全ク撤廢シ、選舉ヲ以テ人間固有ノ權利ト見ナシ、二十一歳以上ノ男子並ニ三十歳以上ノ女子ニ、僅少ノ條件ノ下ニ一般ニ附與スルコトトナツタノデアル。或ハ同様ニ新ニ收正セル教育法案ニ於テハ、義務年限ヲ九ケ年ニ延長シ、補習教育ノ制ヲ完成シ、又無産者ノ子弟ト雖モ相當ノ能力アル者ハ、公費ヲ以テ高等教育ヲ受ケシメル制度ヲ設ケタ。コレ等ハ一例ニ過ギナイガ、カヤウニシテ下層階級ノ權利ト自由トガ漸次擴大サレ、獨立自律ノ個人トシテ認メラレツ、アルコトハ爭フベカラザル事實デアル。

翻ツテアメリカニ於ケル狀勢ヲ顧ルニ、今尙ソコニハ温情主義ヤ協調主義ニ由テ分配ノ公平ヲ圖リ、勞働者運動ヲ鎮撫セントスル運動ガ行ハレテキル、從テソレダケヨローロッパヨリ後レテキルト見ラレルノデアル。温情主義者ハ勞働者ノ組合ヲ認メズ、恩給、株式頒與、住宅、教育機關、衛生災害施設等ニ由テ勞働者ノ生活ノ安固トソノ幸福ヲ計ラウトシ、「ゲレー」工場ニ於テハカ、ル方針ノ下ニ諸般ノ施設ヲ完備シテ、一時勞働者ノ満足ヲ買ウテ成功シタガ、一九一九年ノ大同盟罷業ノ勃發ニ

ヨリ、又將來ノ不安ヲ顧ミ、ソノ不可ナルコトガ一般ニ認メラル、ヤウニナツタ。又協調主義者ハ、アメリカデハ主トシテ縦斷組織ノ工場委員會ヲ組織シ、各階級ヲ代表セル委員ノ商議ニ由リ、問題ノ解決ヲ試ミントスルモノデアルガ、各階級ノ要求ガ容易ニ一致點ヲ發見シ難イコトニ由テ望ミヲ囑スルコトガ出來ナイモノト見ラレテキル。ゴムバースノ主宰ノ下ニ一九一九年ニ勞働組合ノ聯合會ガ組織サレコ、デ勞働者階級ノ要求ヲ統一シテ資本家側ト討議セントスル企圖ガ現レタガ、カ、ル協調的態度ハ、既ニ早ク見限ラレ、分裂ヲ生ジテ、今ヤ凋落ノ悲境ニ陷ラントシテキル。而シテソノ不信任ヲ來セル根本動因ハ、ゴムバースガ直接政治ニ關與スル方策ニ出デズシテ大體ニ於テ從來ノ政黨並ニ政治機關ノ承認ノ下ニ、勞働者側ニ有利ナル議員ヲ選出シテ彼等ノ要求ヲ貫徹セントスル保守的態度ニ存スルヤウニ思ハレル。カクノ如キゴムバースノ消極的政策ハ、彼ノ率キル聯合會ニ於テモ、一九二〇六月モントリールニ開會セルソノ大會ニ於テ示サレタル如ク、一般ニ不信用ヲ來シツ、アルモノデアツテ、例ヘバゴムバース氏ノ熱心ナル反對ニモ拘ラズ、大會ニ於テ鐵道國有案ヲ可決セルガ如キハ、ソノ實證ト言ハネバナラス。即チ急進派ノ意見ニ依レバ、ゴムバースノ如キ態度ハ既ニイギリス勞働黨ガ長イ間嘗メ

來ツタ苦イ經驗ニ由テ、ソノ徒勞ナルコトヲ明示セルモノデアル。カクテカ、ル消極的政策ニ對スル反抗運動ハ各方面ニ現レタガ、ソノウチ最モ顯著ナルハ一九二〇年七月シカゴニ於テ組織サレタ職工並ニ農民ノ急進派ヨリ成レル農勞黨デアツテ、直接ニ政治ニ關與シテ産業ノ民主的支配ヲ實現スルコトヲ目的トセルモノデアル。併シコノ新黨ニ於テハ、一方勞働權ヲ主張シツ、他方傭雇關係ヲ認メテキルヤウデアアルカラ、カノ全然革命的ナルI.W.W.ナドヨリモ遙カニ實際的ナ運動デアルト思フ。(大正九年十月東京朝日新聞所載)米國勞働運動の新傾向參照又I.W.W.ハ直接的關係ノ有無ハ兎モアレ、カノ革命的「サンデイカリズム」ト同氣相通ズルモノデアツテ、又ロシアノ「ボルシエヴイキ」モI.W.W.ノ主張ヲ實行シタモノデアルト言ハレル程、殆ンドソノ主張ヲ同ジウセルモノデアアル。從テI.W.W.ハアメリカ現代ノ勞働者運動中最モ過激急進ナルモノデアツテ、大體マルクスノ階級爭鬭說ヲ中心ノ信條トシ、大小ヲ問ハズ總テ資本家的階級ヲ以テ勞働者階級ト兩立セザル彼等共同ノ敵ト見做シ、爭鬭ノ手段ニ由テソレヲ倒シテ産業支配權ヲ彼等ノ手ニ收メルコトヲ目的トセルモノデアアル。併シI.W.W.ハソノ成立以來、主トシテ不熟練勞働者ヲソノ主部トスルモノデアツテ、從テ熟練職工ハ容易ニ仲間入ヲセズ、殊ニ政府當局ノ取締モ嚴重デアアル所カ

ラ、今日ニ至ルモ未ダ大勢力ヲ爲スニ至ラナイ。タゞ恐レラレテキルノハ、ボルシエ ヴィキーノ宣傳ニヨツテ、I.W.W.ガ全然赤化セントスルコトデアル。

カクノ如クアメリカニ於テハ、大體ヨーロッパニ於ケル如キ勞働者階級ニ於ケル如キ勞働者階級ニ於ケル統一の運動ガ鞏固デナク、又ソノ主張モ猶マルクス主義ヲ中心トシテ物質的の方面ヲ低徊シテキルヤウニ思ハレルガ、少シク内面的ニ觀察スレバ、コ、ニモ亦人格的要求ヘノ轉向ヲ發見スルコトガ出來ル。コレ迄最モ勢力ノアツタゴムバースノ組合萬能主義モ、要スルニ組合ノ勢力ニ由テ勞働者ノ權利、位置、待遇ノ向上ヲ企劃セントスルモノデアツテ、即チコレニ由テ勞働者ヲシテ人間の生活ノ營爲ヲ可能ナラシメ、文化生活ヲ享受セシメントスル要求ニ基ケルモノデアアル。從ツテ舊來ノ如キ單ナル物質的要求ヲソレ自身ノ爲メニ主張セルモノトハ大ニソノ趣ヲ異ニスルモノト言ハネバナラス。又コレニ反對セル急進派ガ産業的支配權ノ獲得ヲ主張シ賃銀勞働制度ノ根絶ヲ期スルガ如キハヨーロッパニ於ケルト同様ニ、一面デハソレニ由テ資本家ノ利潤ノ擄取ヲ不可能ナラシメ、勞働者階級ノ利益ヲ圖ラントスル物質的要求ニ基クモノデアアルガ、他面ニ於テハ奴隸的境涯ヲ打破シテ自主獨立ノ市民トシ、自律的人格者トシテノ地位ニ到達セントス

ル希望ノ發現ニ外ナラナイト思フ。又若シカノI.W.W.ナドガロシアノ第一革命當時ノ如キマルクス主義ソレ自身ノ立脚地カラ、階級爭鬭ニ由テ革命ヲ企圖セントスルナラバ、ソレガマルクス主義以上ニ進出シナイ限り、現代ノ趨勢ト一致セザル固陋ノ見ト言ハネバナルマイ。

八

カク觀察シ來ル時ハ、イマダ形勢頗ル渾沌タルロシア、ドイツ並ニ他ノ小國ハ暫ク措キ、列國ノ勞働者階級ノ傾向ハ、一般思潮界ノ轉向ニ順應シテ、次第ニ精神的要求ヲ加ヘツ、アルコトヲ看取セシメルモノガアルヤウニ思ハレル。コノ間ニアリテ我國ニ於ケル勞働者階級ハ如何ナル傾向ヲ取リツ、アルカ。

産業ノ發達ニ於テ少クトモ半世紀以上モ後レテキタ我國ニ於テハ、資本家ガ特種階級トシテ注目サレルヤウニナツタノモ、日清戰爭カラ日露戰爭ニカケテノコトデアツテ、殊ニ日露戰役後國力ノ膨脹ニ伴ヒ、初メテ産業ノ目覺マシイ發達トナリ、企業家ノ勃興ガソノ對手トシテ勞働者ノ數ヲ著シク増加セシメタガ、マダ兩者ノ階級的對立ハ世人ノ注目ヲ惹クコトガ著シクハナカツタ。然ルニ世界大戰ニ際

シ、企業ノ急激ナル發展ガ、一方ニ大小數多ノ成金ヲ生ミ、又富ノ増加ニ伴フ物價騰貴ガ中産以下、就中無産階級ノ生活ヲ脅カスニ至リ、シカモソノ間ニヨ―ロツパニ於ケル勞働運動ノ刺激ヲ受ケテ、コヽニ兩三年ニ亘ツテ續發セル勞働爭議ヲ惹起スルニ至ツタノデアアル。カクノ如ク我國ニ於テハ、勞働問題ガ少クトモ最重要ナル社會問題トシテ現レタノガ、極メテ最近ノコトデアリ、且一般勞働者ノ文化ノ程度モ少クトモ歐米ノ先進國ニ比シテ低級デアル爲ニ、ソノ運動モ、ソレニ對スル方策モ、共ニ幼稚デアルコトハ止ムヲ得ナイコトデアラウ。ガ併シ問題發生ヨリ今日ニ至ルマデ短期間ナガラモ、ソノ間ニ問題ノ性質ハ漸次變化シツヽアルヤウニ思ハレル。即チ初メノ間ハ勞働者ノ要求ハ、主トシテ單ニ賃銀ノ値上デアツタ。然カモソノ理由ハ生活難ノ苦境ヲ脱シタイトイフ單ナル物質的要求ニ過ギナカツタ。然ルニ續イテ勞働時間ニ關スル問題ガ現レ、最初ノ如キ、賃銀サヘ増加スレバ時間ナドハ餘リ論ジヨウトシナカツタ態度ハコヽニ一變シタノデアアル。而シテソノ理由ハ從來ノ如キ睡眠以外ノ全時間ヲ勞働ノ爲ニ奪ハレルヤウナ奴隸的生活カラ脱却シ、時間ノ餘裕ヲ得テ人間ラシイ生活ヲ營ミ、文化生活ノ一端ナリトモ味ヒタイトイフコトデアツタと思フ。勿論外面的ニ見レバ、勞働時間ノ問題モ外國ノ眞似ヲ

シタニ過ギナイカモ知レナイガ、單ニコレダケニ解釋スルノハ餘リニ我ガ勞働者ヲ低級視シタ皮相ノ見デハアルマイカ。現今ノ我ガ勞働者ガ、一般ニ彼等ノ境遇ヤ人間生活ノ意義等ニ關シ、深イ理解ヲ缺イテキルコトハ事實デアラウ。ガ併シ人間ハ理解ノ及バナイ所ニモ直覺ガアル。現代生活ノ渦中ニアル者ハ、如何ニ無理解ノ如ク見ユル者デモ、現代ノ重要問題ニ關シテ全ク無感覺デアルコトハ恐ク有リ得ナイト思フ。

續イテ現レタノハ勞働組合承認ノ要求デアアル。輓近我國ニ於テモ各種ノカ、ル組合ガ發生シタガ、當局ニ於テ未ダ組合法案モ公布サレズ、シカモ組合ガ運動ヲ開始シタ場合ニ、少シク不穩ト認メラルレバ、治安警察法ニ由テ處分サレルノデアアルカ、甚ダ手頼リナイ組合ト言ハネバナラス。ソレニモ拘ラズ多數ノ組合ガ成立シ又成立シツ、アルノハ單ニ外國ノ模倣デアルダケデハナクテ、實際ニソノ必要ニ迫ラレテキルカラデアツテ、ソノ必要トハ即チコレニ由テ、彼等ノ要求主張ニ地盤ヲ與ヘンガ爲メザアル。又カ、ル地盤ヲ得ント欲スルノハ、主トシテ團結ノ力ニ由テ從來ノ如キ資本家ニ對スル從屬的關係ヲ脱却シテ、對等關係ニ出デントスル希望ニ外ナラナイ。尙彼等ガカ、ル希望ヲ懷抱スルニ至ツタノハ、生産ニ對スル不可

缺要素トシテノ勞働ノ意義ヲ解シ、コレニ基ケル彼等ノ權利ヲ自覺シタ以上最早從屬的地位ヲ甘受スルコトガ出來ナクナツタカラデアル、實ニ彼等ハ組合ノ力ニ由テ單ニ待遇ノ改善トイフ物質的要求ヲ貫徹センガ爲メダケデハナクテ、即チ勞働ヲ商品トシテヨリ高價ニ賣却センガ爲デハナクテ、生産關係ニ於テ資本家ト同様ニ彼等ノ主張シ得ル權利ニ覺醒シタカラデアルト推斷スベキデアル。

コレト關聯シテ、カノ普選運動モ亦下層階級ノ權利伸張ノ運動トシテ、主トシテ勞働者階級ノ要求ト言ツテヨイ。我國ニ於テハ自由民權ノ主張ハ憲法發布ト國會開設トニ由テソノ素志ヲ貫徹シタケレドモ、ソノ民權トハ即チ第三階級ノ權利デアツテ、無產ナル第四階級ハコレニ與ラナイノデアル。然ルニ無產者階級ノ數ノ増加トソノ文化的向上トハ、一般ノ民主的思潮ノ影響ノ下ニ、特ニ勞働運動ト聯關シテ、選舉權ノ一般賦與ヲ要求ルヤウニナリ、過去兩三年間ニ於ケル猛烈ナル普選運動トナツテ現レタノデアル。而シテ普選ノ要求ハ無產ナル勞働者ト雖モ、國家ノ一員トシテ、ソレニ有用ナル生産事業ニ從事スル以上、國政ニ參與スル權利ヲ主張スベキデアルトイフ利害ヨリモ、寧ロ當然ノ權利ヲ獲得スルコトニ由テ、獨立自主ノ個人トシテ承認セラレントスル希望ノ發露ニ外ナラナイ。

尙カ、ル方面ノ要求トシテ見ルベキハ教育ノ民本化デアル。即チコレ迄ノ我教育制度ニ於テハ、義務教育タル尋常小學ノ六ケ年ダケ無月謝デ教育ヲ受ケ得ルノミデアツテ、中等並ニ高等ノ教育ハ有產者ノ子弟デナケレバ受ケルコトガ出來ナイ。然ルニ義務教育ダケデハ日用サヘ辨ジ兼ネル程低級ナルモノデアツテ、コレヲ以テ進歩セル事業ニ從事シ、文化生活ニ參與スルコトハ不可能デアル。茲ニ於テ教育民本化ノ要求ハ、第一ニ義務教育ノ年限ヲ延長シテソレヲ一層完成スルコトヲ主張シ、第二ニ社會的活動ニ於テ現今無產者ノ子弟ガ蒙ツテキルヤウナ「ハンディキヤツプ」ヲ排除スル爲ニ、中等並ニ高等教育ノ機關ヲ彼等ノ爲ニ解放センコトヲ主張スルニ至ツタ。勿論コレハ單ニソノ門戸ヲ解放スルバカリデナク、無產者ノ子弟モソレニ在學シ得ル爲ニ必要ナル經濟的問題ノ解決ヲモ併セテ要求スルモノデアル。カ、ル主張ハ一面經濟的關係ニ基ケルモノデアルト共ニ、他面ニ於テハ人格的發展ヲ希求スルヨリ起レル精神的要望ノ發露ト見ルベキデアラウ。

又近來喧シキ婦人問題ニ關シテ、男子トノ平等の待遇ガ切リニ主張ザレテキルガコレモ一面ニ於テハ同一方面ノ勞働ニ對スル同一賃銀ノ要求トシテ物質ノ問題デアルガ、他方ニ於テハ政治上、社會上スベテ男子ト平等ノ待遇ヲ受ケントスル

要求デアツテ、カノ人種平等案ノ精神ト同様ニ、コレマデ低級者トシテ差別的待遇ヲ蒙リ來ツタ者ガ、獨立自律ノ個人トシテノ自覺ニ立脚シテ、カ、ル要求ヲ提起スルニ至ツタモノデアツテ、ソノ根抵ニハ社會的平等ノ一般的精神ガ嚴存スルト共ニ、獨立セル一個ノ人格者トシテ取扱ハレヤウトスル人間的要求ガ潜在スルヲ認メザルヲ得ナイト思フ。

サテ勞働者ノカ、ル要求ニ對シテ、我ガ一般社會或ハ資本家階級カラ如何ナル態度ヲ取リツ、アルカ。資本家ガ最モ希望シ、且從來取り來ツタ方針ハ、言フマデモナク溫情主義ニ由ル勞働者懷柔策デアツタ。ガ併シ勞働者ノ要求ニ徴シテ、他國ニ於ケル如ク、我國ニ於テモ亦カ、ル方策ノ效果少キコトガ既ニ覺知サレ、ソコデ協調的方案ガ現レタノデアアル。即チ一方デハ或ル程度マデ勞働組合ヲ承認シ、コレト資本家トノ討議ニ依リ、兩者ノ調停ヲ計ラウトシ、又他方デハ各種ノ社會政策ヲ實行シテ勞働者ノ福利ヲ増進セシメ、以テ兩階級ノ緩和ヲ圖ラウトスルノデアアル。コレニ依リ勞働者ノ待遇モ大ニ改善サレ、又組合承認ノ下ニソノ權利ト自由トヲ或ル程度迄認メルコトニ由テ、成ルベク資本家ト對等關係ニ引キ上ゲントスル傾向ニ進ンデ來タヤウデアアルガ、第一ニ勞働組合ニ關スル法案モ未ダ確定セズ、第二ニ

勞働者ノ要求ハ屢々却ケラレタノデ、勞働運動ガ漸ク惡化セントスル狀勢ヲ示スコトガ度々デアツタ。今春以來ノ不景氣ハ一時カ、ル運動ノ機會ヲ奪ツタヤウデアツテ、サシモ騒然タリシ勞働者運動モ、急ニ陣太鼓ヲ收メテ、野分ノアトノヤウナ靜寂ヲ感ゼシメ、或ハ問題ハ既ニ經過シタカノ觀ガアルカモ知レナイガ、勿論コレハ表面ダケノコトデアツテ、企業家ノ損失ヤ沒落ニ伴ヒ、事業ガ或ハ縮少サレ或ハ瓦解シ、勞働者解雇ノ聲ガコ、カシコカラ傳ヘラレタノデ、何ヲ措イテモ食ハズニハキラレナイ。勞働者ガ眼前ノ狀勢ニ鑑ミテ、不満足ナル條件ヲ甘受シ、慘メナ待遇ニ辛抱シテキルトモ、一度放タレタ矢ハ決シテ元ノ座ニ還ルコトハ出來ナイ。既ニ一度勞働者トシテノ階級的自覺ニ醒メ、自己ノ要求ヲ當然ノ權利ト感ジ人間ラシイ生活ノ希望ニ燃エタ彼等ノ心ハ、單ニ經濟的關係ニ於テノミナラズ、政治上ソノ他ノ各種關係ニ於ケル彼等ノ位置ヲ、問題發生以前ノ狀態ニ挽回スルコトヲ永久ニ不可能ナラシメタト言ハネバナラヌ。カクテ企業界不振ノ結果、外部的運動ノ危險ニ脅カサレタ彼等ハ、ソノ不平不満ヲ外部ニ表顯スルコトガ出來ナケレバ出來ナイ程、益々ソノ内心ニ喰ヒ入ツテ、彼等ノ覺醒ハ彌々鮮カニ問題ノ焦點ヲ照スニ至リヤガテ機會ヲ得バ、コレ迄ノ如キ雷同的ナ空騒ギト異ツタ眞劍ノ問題トシテ

ソノ要求ヲ提起スルニ至ルデアラウ。從ツテ現時ノ狀勢ハ勞働運動ノ自己沈潛時代デアル。然カモ單ナル沈潛デハナクテ、ソノ間ニハ有識者階級カラノ各種ノ宣傳ガ彼等ヲ啓發シテ、ソノ自覺ヲ培フ上ニ多大ナル影響ヲ與ヘルデアラウ。

九

尙最後ニ自分ハ近世社界思想ノ核心ヲ成セル個人的自由ノ主張ガ輓近ニ至ツテ社會的自由ノ立脚地ニ推移シタコトヲ附記セネバナラス。即チ宗教改革及ビ「ルネッサンス」カラフランス革命ヲ經テ、十九世紀ノ産業的大飛躍ニ至ルマデ、悉ク個人的自由ノ精神ノ發現デナイモノハナカッタ。ガ併シカ、ル傾向ハ、個人的自由競争ノ結果タル階級的差別ノ極限ニ到達シテ、遂ニ行キ詰マラザルヲ得ナカッタ。コレ迄一般民衆ガ翹望シタ自由ハ、社會的競争ノ結果常ニ少數ノ卓越者ニ吸收サレ、憧レシ自由ノ聖像ハ彼等ノ眼前ヲ掠メテ、及ビ難キ高座ニ昇リ近ヅカントシテ焦慮スルニ從ツテ、彼等ノ足ハ益々泥濘ノ深ミニ陷リ、自ラ救フコトノ不可能ヲ悟ラザルヲ得ナカッタ。カ、ル苦イ經驗ニ教ヘラレテ、彼等ノ悲境ハ畢竟個人的自由ヲ求メタ應報デアルコトヲ知り、茲ニ於テ舊來ノ立脚地ヲ全然放擲シテ新ナル立場

ヲ求メタ、而シテ彼等ハコレヲ聯帶的觀念ニ立脚セル社會的自由ノウチニ發見シタノデアル。

スペンサーヤステイヴンナドノ説イタ社會有機體説ハ、社會組織ガ緊密ノ度ヲ加ヘ、社會生活ノ範圍ガ擴大サル、ニ至ツテ適切ニソノ眞理ナルコトガ一般ニ感得サレ、人類ノ福祉ガ社會ノ所産デアルト共ニ、ソノ害惡モ亦ソノ原因ヲ社會ニ歸セザルヲ得ナイヤウニナリ、又個人ノ善惡モ幸福モソノ餘波ヲ社會ニ及ボスト共ニ、社會ニ現レタ諸相モ亦個人ニソノ影響ヲ波及スルコトガ單ニ理論トシテハナク、事實トシテ經驗サレルヤウニナツタ。カクテ社會ノ禍福悉クソノ成員共同ノ責任ニ歸スベキモノデアルトイフ社會聯帶ノ思想ヲ生ンダノデアル。而シテソレガ最初ニハ、社會ニ瀾漫セル貧窮ト罪惡トヲ以テ社會共同ノ責任ト見做シ、ソノ救済ヲ社會共通ノ本務ト爲ス主張トナツテ現レタ。コレニ由テ無産ナル勞働階級ハ生存並ニ生活上ノ要求ヲ當然ノ權利トシテ主張スルニ至ツタノデアル。併シ乍ラコノ主張ハ、資本家ガ壟斷セル剩餘價值ヲ彼等ノ手ニ回收シヤウトスル主トシテ物質的ノ要求ヲ意味スルモノデアツテ、又同時ニ資本家ノ利己ニ對シテ彼等モ亦ソノ利己ヲ主張スルモノデアル。然ルニ社會聯帶ノ觀念ハ、カ、ル利己的立脚地ニ

停止スルコトヲ許サナカッタ。何トナレバ聯帶ノ觀念ハ本來人間ノ社會的衝動ニ基クモノデアツテ、又社會的衝動ハ社會的共存ト共福トヲ欲求スルモノデアルカラ、ソノ強マルニ從ツテ利己的衝動ヲ克服セズンバ止マナイモノデアアル加之既ニ述ベ來ツタ如ク、時代思潮ノ趨勢ハ物質主義ヨリ理想主義ヘト轉向シツ、アルガ前者ハ元來利己ヲ核心トセルモノデアアルニ反シ、後者ハ實ニ社會的共存ノ理法ニ立脚シテ個人的並ニ社會的存在ノ文化的向上ヲ基本要求トセルモノデアアル。カクテ社會聯帶ノ思想ハ本來利己的ナル物質主義ヲ去リ、自己本來ノ立脚地タル社會的意識即チ社會心ノ上ニ立チテ、一面社會的生活ニ於ケル物質的條件ノ改造ニ努メルト共ニ、他面ニ於テ個人人格ノ啓發ト一般文化ノ促進トニ向ツテ共同ノ奉仕ヲ力説スルニ至ツタノデアアル。

サテ近世ノ初頭カラ一貫セル近代人ノ根本的要求タル自由ハ今ヤカ、ル新シイ地盤ノ上ニ發見サレヤウトシテキル。即チコ、デハ自由ハ以前ノ如キ利己的個人的ノモノデハナクテ、各個人ガ相互ノ生存ト生活トヲ保全シ更ニ進ンデハ互ニ人格者トシテ尊敬ヲ交ハスコトニ於テ保持サレル自由デアアル。從ツテ無制約ニ自己ヲ主張シ肯定スル自由デハナクテ、他ヲ犯スコトヲ互ニ抑制シ、一般ノ進歩ト寧

福トヲ齎スコトニ於テ自ラ犠牲トナルコトニ由テ自己ヲ生カスコトヲ希フトイフ條件ノ下ニ、各自ノ理想ヲ實現シ、以テ社會ノ文化ニ寄與スルコトニ由テ、能フ限リ多クノ成員ガ共通ニ享有セントスル自由デアル。カノラツセルガ創造衝動ニ由レル萬人共有シ得ル文化財ノ創造ヲ高唱セルハ、カ、ル文化的社會生活ニ於ケル創造ト享有トニ關シテ眞ニ平等的ナル自由ノ眞諦ヲ把握セル見解デアル。

以上自分ハ略々軌近ニ於ケル社會運動ノ背景トシテノ思想ノ推移ノ一般ヲ叙ベ了ツタツモリデアル。併シソレニ由テ、現代ノ思潮ガ物質主義ヲ放棄シテ直チニ理想主義ニ轉向シタ如クニ解釋シテハナラナイ。カクノ如キハ畢竟一面觀ニ囚ハレタ偏頗ノ見タルヲ免レナイと思フ。人間ガ生物デアル限り、物質的條件ハ有ラユル生活ノ外的基礎デアル。ソレ故ニ現代思潮ノ理想主義的轉向トハ、單ナル物質的見地ヲ越エテ、理想的境涯ノ再發見ヲ意味スルモノデアル。即チ物質ヲ止揚セル理想主義デアツテ、ソレヲ排除セルモノデハナイ。コレヲ歴史的ニ解釋スレバ、十九世紀ノ中葉唯心論的思想ニ對スル反動トシテ唯物論ガ現レタ如ク、現代ノ理想主義モ亦コレニ先テル物質主義ニ對スル反動トモ解サレルデアラウ而シテサキニ極端ナル唯心論的偏見ガ唯物論ノ反動ヲ導來シタ如ク、今若シ現代ノ理想主義ガ同様

ノ偏見ニ墮シテ、物質的思想ヲ全然排除スルガ如キ見地ヲ執ルナラバ、ヤガテソノ反動ヲ生ムコトハ必然ノ勢トイハネバナナルマイ、ケレドモ歴史ハ、決シテソノマヽノ姿ニ於テ繰返スモノデハナイ。現代ノ理想主義的思潮ハ、十八世紀末ヨリ十九世紀前半ニ亘ツテノ唯心論トハ、人間生活ノ様相ガ甚大ナル變異ヲ伴ヘルダケ、大ニソノ趣ヲ異ニセルモノデアル。又異ニセルモノデナケレバナラナイ。即チ現代ニ於ケル人間生活ハ近代ノ遺産トシテ二重ノ拔ク可カラザル基礎ヲ附與サレテキル。自然科學ト經濟生活トガ即チソレデアリ。從テ現代ニ於ケル思潮ハソノ理論的方面ニ於テハ自然科學ト調和スルコトヲ必要トシ、實踐的方面ニ於テハ經濟生活ト乖離シテハナラナイ。ソレ故ニ現代ニ於ケル理想主義的思潮ハ、コレ等兩者ヲ背景トシ、足場トシテ、一面ソレニ由テ確實ナル起發點ヲ獲得スルト共ニ、他面ニ於テソレニ拘束セラル、コトナク、ヨクソレヨリ進出シテ、人間生活ノ意義ニ徹シ、ソノ價值ノ體現ヲ可能ナラシムルモノデナケレバナラナイ。從テカヽル見地ヨリ批判スルナラバ、極端ナル精神主義或ハ理想主義、例ヘバトルストイノ原始キリスト敎主義ニ據レル禁欲說ヤオイケンノ自然ヲ全ク克服セントスル理性的精神生活ノ哲學ノ如キハ、ソレ自身ノ姿ノ高貴ナルニモ拘ラズ、自然主義ヤ物質主義ニ對スル反

動的主張トシテソノ啓蒙的意義ハ充分コレモ認メナケレバナラナイケレドモ、コレヲ以テ直チニ時代ヲ先導スル動力トナスコトハ出來ナイデアラウ。彼等ハ時代ノ闇黒ヲ照ラス燈明タルヲ得ルモ、ソノ歩行ヲ可能ナラシメル推進力タルコトハ出來ナイ。思想ノ徹底ハ吾人ノ努ムベキ要件デアル、ガ併シソレハ稍々モスレバ一面ノミノ固執ニ由テ偏見ニ墮スルモノデアル。偏見ハ一服ノ清涼劑タルヲ得ルモ以テ身骨ヲ養フコトハ出來ナイ。ソレ故ニ理想主義的思潮ガヨク現代ヲ支配シ得ル爲メニハ、現代生活ソレ自身ニ立脚セル理想即現實のノモノデナケレバナラナイト思フ。(完)